



けすぞう新聞

2018年3月発行
NO.3
播磨町消防団女性分団

こんにちは、女性分団です。

誕生からもうすぐ12年です。

2006年8月1日、消防団の分団としては珍しい「女性分団」が播磨町に誕生しました。リニューアル前の「けすぞう新聞」でも紹介させて頂きましたが、ここで再び、私たちの紹介をいたします。正式名称は「播磨町消防団女性分団」。

皆さんがイメージされる「火を消し、災害時に活躍」とは少し活動が異なり、女性分団は地域のみなさんの防災意識の向上を目的としています。人災を未然に防ぐ知識や、自然災害時の適切な対処法を分かりやすく伝えるべく、日々活動しています。



女性分団のある播磨町はこんな町

「播磨」と耳にすると播磨地方-姫路市の北部を連想される方がいますが、西に加古川市、東に明石市に挟まれた、兵庫県で一番小さくても、大きなパワーを持って頑張っている町なのです。

1962年(昭和37年)に兵庫県最後の村「阿閑(あえ)村」から「播磨町」になり、昨年2017年には町制55周年となりました。町の面積3割を占める人工島では50社を超える会社が操業し、製造出荷額は県下でも上位にランクされています。

電車ではJR山陽本線「土山駅」と山陽電鉄「播磨町駅」の2駅があり、神戸から40分、姫路から30分。車では第二神明道路のインターチェンジ及び加古川バイパスのランプ「明石西インターチェンジ」を降りて5分で到着です。



こんな活動をしています

ゾウの「けすぞうくん」がマスコットキャラクター、うちら陽気な女性分団♪やる時にはやります。

現在、30代から50代の兼業主婦の女性団員が防災の啓発活動やポンプ操法、心肺蘇生法やAEDなどの訓練に取り組んでいます。

結成当初は活動方針も未定のまま礼式訓練や出初式、啓発パレード、兵庫県の研修参加など受け身でしたが、こんにちはでは積極的に参加し、様々なイベントで活躍しています。

活動のひとつに啓発劇があり、町内外問わず、依頼があれば可能な限り出動し啓発活動に取り組んでいます。啓発劇の他にも、防災体験や防災訓練、炊き出しのお手伝いもしています。

播磨町ポンプ操法大会では女性分団も軽可搬ポンプ操法を披露しています。今は大会に向け週3回、播磨分署で夜間特別練習中です。

これからも、播磨町のみなさんが安全で安心して暮らせるよう、防火・防災啓発活動に力を注いでいきます。

われらのシンボル、けすぞうくん

けすぞうくんプロフィール

身長: 180cm

体重: 80kg

誕生日: 2006年8月1日

特技: 鼻息アタック

好きな食べ物: いちご

ひとこと: 世界の平和を守るため、今日も私は突き進む〜♪

